

深谷にぎわい工房

ニュース No. 3

2003年4月号

発行日：2003年3月31日（隔月発行）

発行所：特定非営利活動法人 深谷にぎわい工房
中山道オフィス 〒366-0822 埼玉県深谷市仲町1-13
（中山道仲町交差点近く「活性化サロン一休」内）

メール：owner-fnk@freeml.com

ホームページ：http://www.geocities.co.jp/

HeartLand-Cosmos/1107/fnk/

「深谷にぎわい工房」は、地域社会における生活の質の向上と活性化に貢献するために、まちづくりに関する調査・研究の実施、情報受発信、セミナーやイベントの開催、政策提言等を行うNPO（Non-Profit Organization：非営利組織）です。

旧柳瀬金物店倉庫再生プロジェクトがスタートします！

深谷にぎわい工房は、所有者のご依頼を受け、旧柳瀬金物店倉庫を市民のための多目的スペースやコミュニティ・ビジネスの場、NPOや市民団体のためのオフィス・スペースとして再生する大プロジェクトをスタートします。街なかに残る歴史資産を保全・活用するとともに、NPO活動・市民活動やコミュニティ・ビジネスの拠点をつくることにより、街なかのにぎわいを創出することを目的とします。

深谷にぎわい工房は、市民の皆さんと一緒に、この倉庫の再生を検討・実現していきたいと思っています。5月には大掃除イベント、夏には倉庫の活用・運営方法やデザインを検討するワークショップを開催する予定です。



▲旧柳瀬金物店倉庫は、昭和8年（1933年）頃に建てられたレンガ倉庫です。このニュースレターの裏面には所有者の柳瀬さんの自己紹介があります。

桜まつり！

深谷の街なかでは、4月6日（日）に「深谷桜まつり」が開催されます。仲町中央広場（フクノヤ跡地）では「Flower Festival in FUKAYA」や各種模擬店及びバン

ド演奏、下台池公園では「異世代交流事業」、深谷駅では「ステージ・イベント」等が開催されます。商店街では「春の連合大売り出し」も行われますので、皆さん、是非、深谷の街なかにおいで下さい。

終了した2002年度事業の報告

2002年度末で、深谷にぎわい工房が受託または参加していた事業のいくつかが終了しました。

◎深谷TMO情報受発信事業

深谷TMO（中心市街地の活性化を目指す機関、深谷商工会議所が事務局）情報受発信事業を受託し、街なかのイベント情報やお買い物情報、空き店舗対策事業をはじめとする深谷TMOによる事業の概要を掲載したウェブ・サイトを開設しました。

<http://www.fukaya-tmo.com/>

◎文部科学省

生涯学習まちづくりモデル支援事業

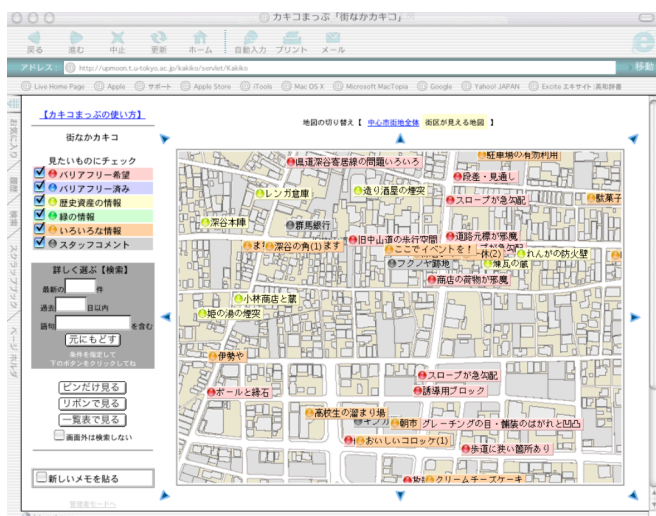
生涯学習まちづくりのモデルとなる施策を展開することを目的とする文部科学省生涯学習まちづくりモデル支援事業が、「まちづくり情報局ふかや」（深谷市、深谷商工会議所、深谷商店街連合会、NPO法人深谷にぎわい工房、NPO法人市民シアター・エフ、東京大学都市計画研究室で構成される実行委員会）によって実施されました。3/22をもって全てのプロジェクト（街なか中学生賑わい再生授業、小学生街なか再発見プロジェクト「まちをあるこう」、街なか模型製作プロジェクト、深谷中心市街地のための都市再生シンポジウム、「蔵の街」栃木市中心市街地の視察、都市マスタープラン指標選定ワークショップ、「みんなで考えよう、みんなで広めよう、深谷のまちづくり！」フォーラム、映画プロジェクト）が終了しました。各プロジェクトの報告は、同事業のホームページをご覧ください。

<http://www.fukaya-tmo.com/model/>

◎「カキコまっぷ」実験

「カキコまっぷ」とは、インターネット上の書き込み地図型掲示板です。深谷にぎわい工房は、2003年1

月から3月までの間、(財)都市計画協会、東京大学都市計画研究室、深谷市の協力の下、この「カキコまっぷ」の活用実験を行いました。深谷の中心市街地の活性化やバリアフリー化に関する情報を扱う「街なかカキコ」とお散歩ルート、農地・農業、自然環境に関する情報を扱う「お散歩カキコ」の2種類の「カキコまっぷ」を用意し、地域社会の活性化や将来のまちづくりの提案につながる情報を収集・蓄積・更新・提供しました。受託事業としての実験は終了しましたが、深谷にぎわい工房では今後も「カキコまっぷ」をまちづくりに活用していきたいと考えています。「カキコまっぷ」には深谷にぎわい工房のホームページからアクセスできます。



▲「街なかカキコ」の画面

会員自己紹介コーナー

深谷にぎわい工房の会員が自己紹介をします。

◎大塚 博 副理事長



人が地域と係るのはいろいろなきっかけがあるんですね。

私はたまたま、同じような境遇の同級生と結婚し、深谷で子育てをしました。子育てを通じて子ども会、スポーツ少年団や部活、PTA活動など、たくさんの方々と地域活動を共にする機会がありました。

ようやく子供も大きくなりましたが、息つく暇も無く、今度は自分のことで地域に深く係ることになりました。たまたま深谷市の呼びかけで都市マスタープラン策定の『まちづくり協議会』のメンバーになり、この活動を通して、NPOの設立にまで発展してきました。

私は都市計画の仕事をしたと思い、地方公務員になり、いろいろな経験と実績を積んできました。今回、深谷という生活の場で生活者としての視点からこのNPOを通じて、まちづくりに係れる事ができそうで、期待しています。

◎柳瀬 崇 副理事長



私の店は中心市街地の深谷町で、90有余年柳瀬市郎商店(金物店)として地域の皆様方にお世話になっておりました。現在はシャディ・サラダ館深谷中央店(贈り物の店)として営業しております。

約20年前よりパソコンを使用しての発注、顧客管理、ワープロ等、当時は一枚一枚のディスクを使用しての作業でした。いまは携帯電話で各作業が出来るようになりました。この様な時代の変化に対応できるお店として努力しております。

一昨年より深谷市のまちづくり協議会に参加し、深谷市マスタープラン作成に係りました。この時の仲間と共に、「NPO法人深谷にぎわい工房」の設立に参加いたしました。深谷の中心市街地ににぎわいを取り戻すため、「商店街」、「住宅街」という概念でなく、人々が暮らし、働き、学び、消費するための機能的な「生活街」を目指して活動しております。

中心市街地の区画整理により、街は大きく変わってゆくと思います。しかし今は少しでもにぎわいを取り戻すため、深谷の伝統的個性、地域的特性をいかした街づくりをめざして、現存する「歴史的資産、建造物」の活用を検討しております。街の活性化の一つとして、私所有の3階建てレンガ倉庫をどのように活用するかも検討している所です。皆様方のお役に立てたら幸いです。

良いアイデア、プランが御座いましたら「深谷にぎわい工房」までご連絡下さい。

◎村山 顕人 理事



こんにちは。深谷市都市マスタープラン策定のお手伝いがきっかけで深谷のまちづくりに関わるようになった大学院生です。専門は都市計画。普段は東京にいますが、平均すると週に1日くらいは深谷にいます。

大学の近くに引っ越す前は、ずっと1970年代に開発された郊外住宅地で暮らしていました。郊外住宅地での生活はそれなりに快適ですが、私は、歴史や文化が蓄積され、多様な人やもの、情報が交流する、人間的で活気のある街なかの暮らしの方に魅力を感じます。

専門が都市計画ですので、街なかの暮らしをさらに魅力的にするにはどのような都市空間をつくっていけば良いかについて関心があります。

会員募集中

詳しくは「一休」またはホームページにて
<年会費> 正会員(個人・団体) 5,000円

賛助会員(個人) 2,000円を1口以上
(団体) 2,000円を5口以上